

## 4、教職員研修の実施

### (1) 作業学習担当者の技能向上研修

#### 【木工】

木工班では、地域でものづくりを支える方々からアドバイスや技術指導を頂きながら製品作りや試作品作りについて取り組んでいます。できるだけ生徒も一緒に研修を受けられるような機会を設定することで、「よりよいものを作ろう」という生徒の意欲や関心を高めることができました。

#### 【新製品のアイデア・技術等の指導：佐藤木材容器】

コースターやスマホスタンドなどの新製品を改善するに当たり、アイデアの提供や技術指導を受けることができました。材料の取り方や塗料の選定など すぐに実践できるような具体的なアドバイスが多く、大変有意義な研修になりました。今後も継続して指導を受けることになっています。



#### 【試作品案・技術指導：木工家具職人五十嵐氏、千田佐市商店】

五城目たんすに代表されるような地域に伝わる、ものづくりの技術を製品作りに生かすため、地域の職人から研修を受けました。試作品について事前に打ち合わせを行い、生徒の前での組立作業を通して仕組や加工について技術指導が行われました。

また、地域の佃煮屋さんから商品の化粧箱について提案を頂き、何度か試作品を作っています。試作に当たっては外部専門家が集まる機会に提案し、サイズや塗料の改善が行われました。今後製品化に向けた打ち合わせを予定しています。



## 【縫製】

縫製班では、草木染めによる製品作りに取り組んでいます。

草木染めは自然の色に気軽に触れることができる技法ではありますが、作業製品として製作するには、鮮やかな発色や堅牢度（色持ち）など高い品質が求められます。そのため、縫製班では秋田県で活躍する染色家の鈴木美保子先生（工房ぬくもり）から定期的に技術指導をしていただき、製品作りに生かしています。



鈴木先生による草木染め指導の様子



右側手前の植物は「日本茜」という、草木染めでは貴重な赤い色が採れる植物ですが、鮮やかな赤に染めるには技術が必要です。



草木染めをした刺し子糸と伝統柄刺し子模様を組み合わせたコースターを製作。

秋田県立大学のテリー・リー・ナガハシ先生が進める、昔ながらのやり方で藍を育てるプロジェクトに参加し、苗植えから収穫までを生徒と共に体験しました。



10月、テリー先生や大学生の方々と一緒に藍の収穫

## 【農園芸】

農園芸班では、地域の方々からご協力いただき、枝豆作りとマメコバチの巣作りに取り組んでいます。定期的に栽培、収穫方法や巣の作り方を一から学び、授業作りや製品作りに生かしています。

### 【枝豆作り】

五城目町にある農事組合法人「山ゆり」の職員さんから畑の除草作業から収穫方法などの技術指導をしていただきました。指導を受け、販売活動に向けて授業の計画を立て実施することができました。

道の駅「五城目」で販売活動を行い、見事完売することができました。



生徒と一緒に山ゆりの職員の方からの指導を受けました。

### 【マメコバチの巣作り】

潟上市にある高橋果樹園の高橋さんに、冬の作業活動の充実に向け、マメコバチの巣作りの指導をしていただいています。マメコバチは受粉の時期に活躍する虫です。

何度か指導をしていただきながら、春の納入に向けて完成を目指します。



マメコバチの巣